あなたと議会を結ぶ
幸田町 議会だより
No.165
2017.7.27

あい・らぶ・マイタウン

中央小学校6年
齋藤花央梨（さいとうかおり）さん

深溝小学校6年
吉筋修也（よしすじしゅうや）くん

幸田町への思い

わたしは生まれたときから幸田町に住んでいます。総合の授業で幸田町の人・もの・ことについて勉強し、たくさんのいいところがあることを知りました。中でも、3年生の時に、幸田町の特産物について勉強し、筆柿をもっと大切にしていきたいと思いました。

わたしは、将来パティシエになり、筆柿を使ってケーキを作り、それを食べてもらって、多くの人に筆柿を知ってもらいたいです。

しだれ桜まつりや彦左まつりなど、幸田町の行事で、筆柿のケーキをみんなにも食べてもらえたら、筆柿のよさも幸田町のよさも、知ってもらえると思います。

ぼくの自まんの深溝

ぼくが住んでいる深溝は、自まんの場所がたくさんあります。例えば、本光寺です。小判やギヤマンのグラスも発掘されるような歴史ある有名なお寺です。6月には約1万本のあじさいが満開になります。むらさきやピンクの色が明るくとてもきれいです。また、高台まで登ると海が見える景色は最高です。

その他には、学校の近くに流れている拾石川です。毎年6月にはホタルがたくさん飛ぶようになります。地域の行事で「ホタルを観る会」があります。地域の方と一緒に見に行き、たくさんのホタルが飛んでいてすごくきれいです。

こんな自然がいっぱいある深溝がぼくは大好きです。これからもこの自然を大切にしたいです。そしてもっと多くの方に深溝のよさを知ってもらいたいと思います。

絵：牧野次男さん（芦谷）

この地で夢をかなえたい

北部中学校3年
柴田歩乃佳（しばたほのか）さん

空気がきれいで自然が豊かなこの町で、教師として働きたい。これが私の将来の夢。この夢をかなえるために、今は受験を気にする日々を送っています。

勉強に行き詰ると私は、休憩と称して京ケ峯に登ります。山頂から自然に囲まれた幸田町を眺めながら、改めて私の夢について考えます。

昨年、幸田小に職場体験をさせていただきました。放課に私の得意な相撲を取ったり、鬼ごっこをしたりしてとても楽しかったことを思い出しました。教師は大変な仕事だけれど、頑張って夢をかなえたいと思います。

そして、夢をかなえることができたら、子どもたちと共に幸田町の自然にふれ合い、豊かで温かい心をもってもらえるようにしたいと思います。

発行／愛知県額田郡幸田町議会　編集／議会広報特別委員会
住所／〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字深溝字元林1番地1　TEL(0564)63-5151　FAX(0564)63-6970
幸田町ホームページ　http://www.town.kota.lg.jp/　Eメール　gikai@town.kota.lg.jp

この広報紙は地球にやさしい再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK